

本院患者さんへの情報公開文書

「IgG4（アイジーフォー）関連疾患の局所炎症環境形成における B細胞由来サイトカインの役割の検討」 についてのご説明

● はじめに

本研究は IgG4 関連疾患患者の病変部生検サンプルを解析し、新しく発見された免疫細胞の働きを調査するものです。

● 研究対象

本研究では 2010 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間に各診療科および病理診断科において IgG4 関連疾患と診断された患者さんの組織（30 例）を対象としています。

● 研究内容

対象組織はチューリッヒ大学スイス・アレルギー喘息研究所（スイス）へ送られ、免疫染色により任意の抗原タンパクの発現を調べます。結果は患者個人を特定しない臨床情報（性別、年齢など）と組み合わせて検討され、IgG4 関連疾患の原因となっていると考えられる細胞のはたらきを調べる目的で使用されません。この研究を行うことで患者さんに通常診療以外の余分な負担は生じません。

● 患者さんの個人情報の管理について

本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程およびその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

● 本院で 2010 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日の間に病理診断を受けられた方の中で、この研究に診療データを提供したくない方は、下記までご連絡ください。

● 研究期間

平成 28 年 5 月 20 日から 平成 31 年 3 月 31 日まで。

● 医学上の貢献

現在、原因が不明な *IgG4* 関連疾患の診断と治療の発展につながります。将来的にこれは患者さんの治療と健康に貢献できます。

● 問い合わせ先

〒060-8556 札幌市中央区南 1 条西 1 7 丁目

札幌医科大学医学部病理学第一講座

研究責任者 鳥越 俊彦

研究分担者 久保 輝文

TEL: 011-611-2111 (内線 26910)、011-643-2310 (直通)